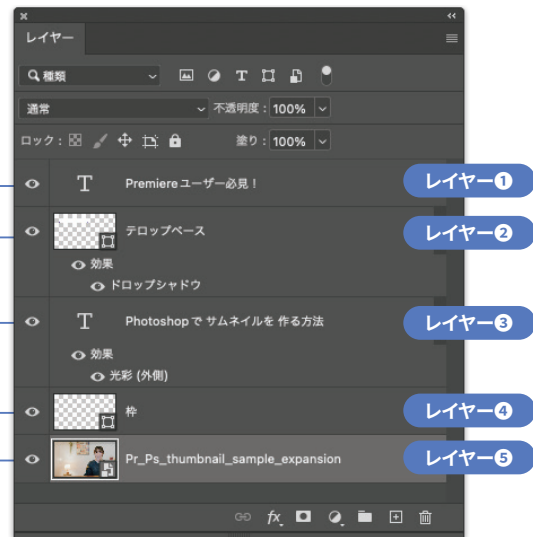


# [テンプレートの使いかた]

## テンプレートのレイヤー構成

テンプレートファイルは5つのレイヤーで構成されています。  
このテンプレートの写真、テキストを変更して、自分だけのサムネイル画像をつくりましょう。

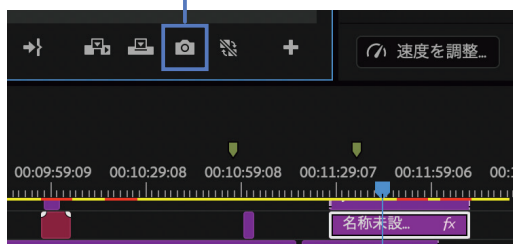
- ・レイヤー①:キャッチコピーのテキスト
- ・レイヤー②:キャッチコピー背景
- ・レイヤー③:メインタイトルのテキスト
- ・レイヤー④:枠
- ・レイヤー⑤:サムネイル写真



## 1. Adobe Premiereでサムネイルにしたいフレームを書き出す

Adobe Premiere のタイムラインでサムネイルに使うシーンにインジケータを合わせて「フレームを書き出し」ボタンを押し、画像ファイルとして書き出します(ここでは JPEG 形式で保存します)。

②「フレームを書き出し」ボタンをクリック



①インジケータを書き出すフレームに合わせる



③「参照」をクリックしてファイルの保存場所を指定

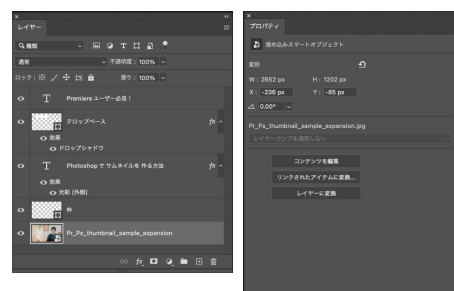
④形式で「JPEG」を選んで「OK」をクリックする

## 2. テンプレートファイルを開く

テンプレートデータを Adobe Photoshop で開きます。

## 3. 使用するパネルを表示する

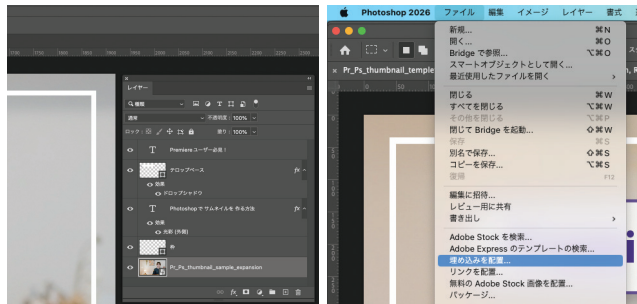
以降の操作では、「レイヤー」パネルと「プロパティ」パネルを使います。画面上にこの2つのパネルが表示されていない場合は、「ウィンドウ」メニューから「レイヤー」「プロパティ」を選択します。



左:  
「レイヤー」パネル  
右:  
「プロパティ」パネル

## 4. 画像を配置する

Premiere から切り出した画像を、テンプレートに配置しましょう。「レイヤー」パネルでレイヤー⑤を選んだ状態で、「ファイル」メニューから「埋め込みを配置」を選びます。書き出した画像ファイルを選択すると、レイヤー⑤の上に新しいレイヤーとして画像が配置されます。



- ①一番下にあるレイヤー⑤をクリックして、選択状態にします  
②「ファイル」メニューから「埋め込みを配置」を選びます



- ③ Premiere から書き出した画像ファイルを選択します

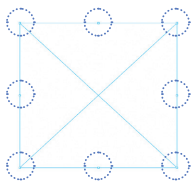


- ④ 画像ファイルが配置されます

追加されたレイヤー →

## 5. 画像のサイズと位置を調整する

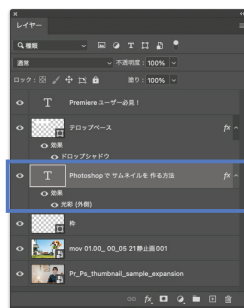
配置された画像が、サムネイルサイズに合わないときや拡大・縮小して使いたいときは、配置直後に表示されるバウンディングボックスをドラッグして、サイズと位置を調整します。



バウンディングボックスの四隅と中央にある□をドラッグすると、サイズを変更することができます

## 6. テキストを変更する

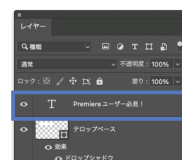
画像が配置できたら、自分が作りたいサムネイルのテーマに合わせて、2つのテキストを変更しましょう。テンプレートにあるテキストを変更するには、変更するテキストレイヤー（レイヤー①③）を選択し、ツールバーにある文字ツールでテキストをクリックします。2つのテキストを変更して、メインタイトルの文字にメリハリをつけたら完成です。



- ①テキストを変更するレイヤー（ここではレイヤー③）を選択します



- ②文字ツールでテキストをクリックして編集状態にしたら、テキストを変更します



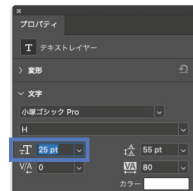
- ③同じ手順でレイヤー①のテキストも変更します



- ④2つのテキストを変更した状態。ここからさらにひと工夫加えます



- ⑤テンプレートに入っているテキストは、強調したい文字を大きくすることで、より伝わりやすい工夫がされています。変更したテキストにも大小をつけ、よりコンテンツの内容が伝わりやすくしましょう。テキストサイズを変えるには、変更したいテキストを選択し、「プロパティ」パネルの「フォントサイズ」の値を変更します



完成!

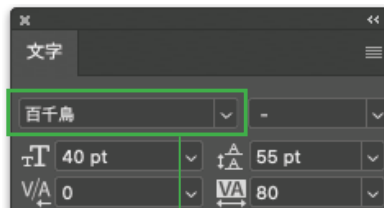




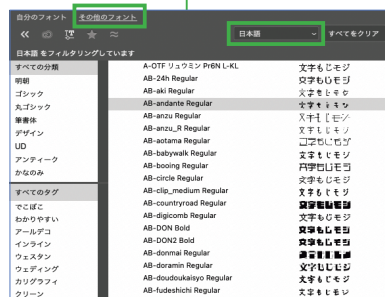
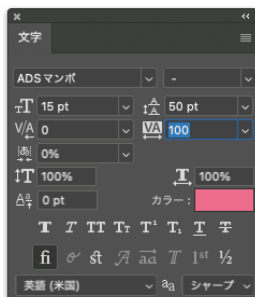
# [テンプレートアレンジ Tips]

## フォントや文字の色を変更するには

テキストのフォントや色を変えるには、「プロパティ」パネルまたは「文字」パネルで、「フォントファミリー」と「カラー」を変更します。フォントリストで「その他のフォント」を選ぶと、Adobe Fonts にある約 30,000 種類のフォントからフォントを探することができます。



フォントを変更するには、「プロパティ」パネルまたは「文字」パネルのフォントファミリーをクリックします



「プロパティ」パネルまたは「文字」パネルのフォントファミリーをクリックした際に表示されるリストの左上で「その他のフォント」に切り替えると、Adobe Fonts から直接、フォントを選ぶことができます。日本語フォントの場合は右上の言語で「日本語」を選択すると探しやすくなります



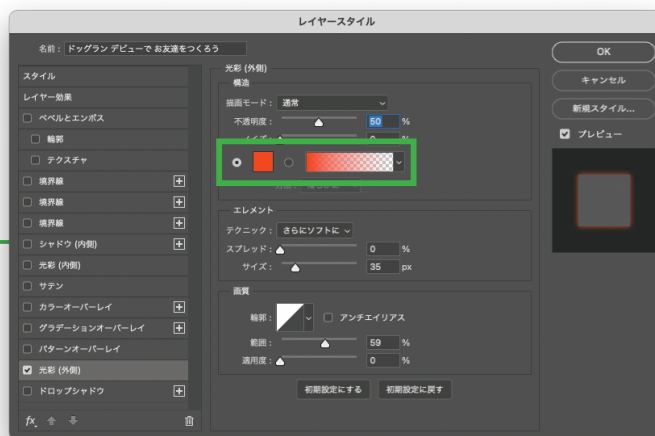
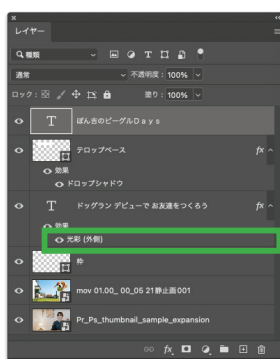
フォントを「ADSマンボ」「百千鳥」に変更した例



タイトルのフォントを「AB Doramin」に変更した例

## 文字の装飾を変更するには

テキストの装飾は「レイヤースタイル」で設定されています。文字から放たれる光の色を変更するには、「レイヤー」パネルの「光彩（外側）」をダブルクリックし、「レイヤースタイル」のダイアログで色を変更します。「レイヤースタイル」には「光彩（外側）」以外にもさまざまな効果があるので、文字とビジュアルに合う効果を追加してもよいでしょう。



「光彩（外側）」のみ



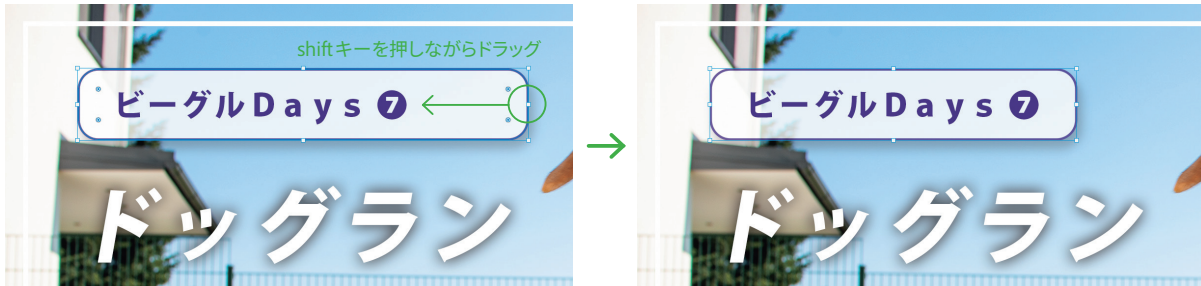
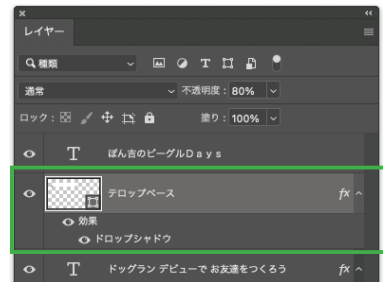
「光彩（外側）」+「境界線」



「光彩（外側）」+「境界線」+「パターンオーバーレイ」

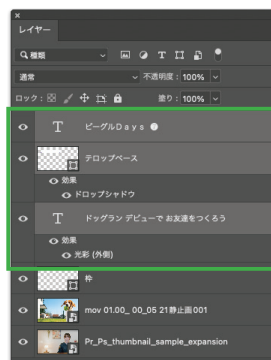
## キャッチコピーの背景幅を調整するには

キャッチコピーの背景に配置されている角丸長方形のサイズを変更するには、まず、レイヤー②「テロップベース」を選択します。角丸長方形にバウンディングボックスが表示されるので、右側中央のポイントをドラッグしてサイズを変更します。幅のみを変更したい場合は、shift キーを押しながらドラッグします。



## テキストの角度を調整するには

テキストの角度を調整するには「自由変形」を使用します。レイヤー①②③を選択した状態で、「編集」メニューから「自由変形」を選ぶと、バウンディングボックスが表示されます。四隅のポイントにカーソルを合わせ、ドラッグすると、テキスト全体を回転させることができます。



## 画像の不足部分を補完するには

画像を配置した際に余白ができてしまう場合は、AI による拡張機能「生成拡張」で自然に画像を広げてみましょう。

「生成拡張」を行なうには、配置前の画像を Photoshop で開き、切り抜きツールでキャンバスを広げるようにドラッグします。コンテキストタスクバーに「生成拡張」のボタンが現れるので、これをクリックします。結果を確認後、画像を保存し、テンプレートに配置します。



画像が足りない部分



①切り抜きツールで左にドラッグ



「生成拡張」で写真の左側を広げて配置



②コンテキストタスクバーで「生成拡張」をクリック

③プロンプトは空欄で「生成」をクリック

## 画像を切り抜きにするには

配置した画像の一部を切り抜きたいときは、切り抜く部分に選択範囲を作り、コンテキストタスクバーの「選択範囲からマスクを作成」ボタンを押します。人物や物を、その形で切り抜く場合はオブジェクト選択ツールを使うと、スムーズに選択範囲を作ることができます。



①オブジェクト選択ツールで切り抜きたい対象を選択します。図の犬とボールのように、複数のオブジェクトを選択したい場合は、shift キーを押しながらクリックします



②選択範囲がある状態で、コンテキストタスクバーの「選択範囲からマスクを作成」ボタンをクリックすると(下図)、選択範囲部分を切り抜くことができます

